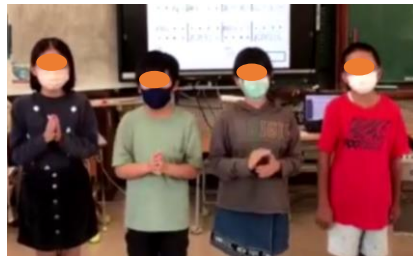




## リズムアンサンブル「音楽集会」4年生

今日27日(木)は、朝から音楽集会がありました。今回の集会では、4年生がリズムの特徴を理解して、拍の流れにのって、「反復」「音の重なり」「変化」などを生かしたリズムアンサンブルを披露してくれました。今回は、「4文字」の単語からリズムアンサンブルを考えてくれて、一組目が「おもいで」、二組目が「おびにし」、三組目が「しょくぱん」という具合に手で拍を取りながら、子供たちは、様々な表現の仕方で、音楽をつくる楽しさを味わっていました。ちなみに右の画像は、「しょくぱん」の楽譜ですが、「しょくぱん」のもつリズムを組み合わせたリ重ねたりしながら、「しょくぱん」という素材を生かすために、どのような音楽をつくるかについての思いや意図を感じます。最後の「ごちそうさまでした。」がそれを象徴しています。



感想交流では、2年生が「『👓帯西グリーン』の心を感じました。わけはみんなで力を合わせて声の高さやリズムをくふうしていたからです。」、6年生は「『👑帯西レッド』の心を感じました。理由は、音楽会に向けて、リズムに気を付けて演奏したいと思ったからです。」と感想を述べていました。その感想のお返しに4年生が「皆さんの言葉を聞いて、嬉しいです。これからも演奏や練習を頑張っていきたいです。」と感想交流を締めくくってくれました。音楽委員も、音楽クイズなどで集会に向けて尽力し、有意義な朝の活動となりました。



## へちまの生命力

学校の花壇で育てていたへちまが、へちま用ネットからさらに伸びて、電線など様々な物に巻き付いて、ついには校舎とプレハブ校舎とを結ぶ電線の途中でぶら下がって実を付けています。そもそもへちまとは、熱帯アジア原産のウリ科の植物です。「系瓜」という漢字が表すように、その果実はとても強靱な繊維をもつという特徴があります。へちまは夏の強力な太陽光を浴びて成長しますが、葉や果実を枯らすことなく生命を維持できるのはへちまが持つ水分保持力のおかげだそうです。そんなへちまの根本から吸い上げられる液体には肌を紫外線から守り、潤いを与えてくれる、サポニンという成分がたっぷり入っています。これは肌細胞の再生効果が高く、優れた抗炎症作用があるため、皮膚細胞を活性化させてダメージを修復してくれるので日焼けやほてりに効果的だそうです。そんなことを考えながら、次年度はへちまを有効活用しようと思った私でした。

